

3. 日本語教育学位取得プログラム

留学生センターは、留学生に対する日本語教育、相談・支援という、二つの柱となる業務に
くわえ、本学の国際交流の将来的な展望を視野に入れた日本語教育養成プログラム（日本語教育学
位取得プログラム）の運営にも携わっている。

本プログラムは、高度な専門性と国際性を備えた日本語教師の養成を目的として、留学生セン
ター、言語社会研究科、独立行政法人国立国語研究所の3者の連携によって2005年4月に開設
された。この3者の連携によって、日本語教育の専門的な知識や技能のみならず、日本語学の最
先端の成果、日本の社会と文化に関わる幅広い知見を学ぶことができ、同時に、所属学生の多様
な興味・関心に応じて柔軟に編成される体制で教育指導を受けることが可能になっており、初年
度から多くの受験生を集めた。

本プログラムは言語社会研究科言語社会専攻第二部門に置かれ、修士課程は定員10名、2007年
4月に設置予定の博士後期過程は定員4名という構成となっている。

〈日本語教育学位取得プログラムの概要〉

定員 10名

学位 修士（学術）

授業担当教員

コアスタッフ（演習、論文指導を担当する教員）

留学生センター：石黒圭、五味政信、鶴田庸子

言語社会研究科：秋谷治、イ・ヨンスク、坂内徳明

国立国語研究所：井上優、前川喜久雄、山崎誠

サポートスタッフ（講義を担当する教員）

留学生センター：庵功雄、西谷まり、横田雅弘、今村和宏（経済学研究科兼任）、

三枝令子（法学研究科兼任、2005年度休講）

慶應義塾大学：松岡弘

国立国語研究所：田中牧郎

3. 日本語教育学位取得プログラム

2005 年度日本語教育学位取得プログラム入学試験受験者・合格者内訳

受験枠	受験者	合格者	入学者
一般	14	5	4
留学生	29	6	6
日本語教育経験者	11	3	3
合計	54	14	13

2005 年度日本語教育学位取得プログラム入学者名簿と指導教員

受験枠	氏名	性別	国籍	指導教員
一般	新井 真保	F	日本	鶴田 庸子
一般	松本 優	F	日本	イ・ヨンスク
一般	阿保 きみ枝	F	日本	山崎 誠
一般	舞木 右	M	日本	坂内 徳明
留学生	Luu Thinh Van	M	ベトナム	五味 政信
留学生	史 シャク	F	中国	井上 優
留学生	李 尚美	F	韓国	イ・ヨンスク
留学生	黄 瑞テイ	F	台湾	井上 優
留学生	烏 日哲	F	中国	石黒 圭
留学生	張 志剛	M	中国	井上 優
日本語教育経験者	戸田 淑子	F	日本	五味 政信
日本語教育経験者	志村 ゆかり	F	日本	鶴田 庸子
日本語教育経験者	根本 愛子	F	日本	イ・ヨンスク

2005 年度日本語教育学位取得プログラム夏学期時間割

	1	2	3	4	5
月		演習：五味	演習：坂内	演習：鶴田	演習：石黒
火					
水		日本語学講義Ⅳ ：今村	日本語教育学講義Ⅵ ：松岡		
木	演習：井上			日本語教育学講義Ⅲ ：横田	演習：イ
金	演習：秋谷 演習：山崎			演習：前川	

2005 年度日本語教育学位取得プログラム冬学期時間割

	1	2	3	4	5
月		演習：五味	演習：坂内	演習：鶴田	演習：石黒
火	比較文化論講義Ⅱ ：坂内	日本語学講義Ⅲ ：庵	日本語教育学講義Ⅱ ：西谷		
水		比較文化論講義Ⅰ ：秋谷	日本語教育学講義Ⅶ ：松岡		
木	演習：井上	日本語学講義Ⅰ ：田中		日本語教育学講義Ⅳ ：横田	演習：イ
金	演習：秋谷 演習：山崎			演習：前川	

表1：日本語教育学位取得プログラム科目（言社研・国語研科目は除く）

科目（担当教員）	コマ数	授業内容・到達目標	時期・時間数
日本語学講義Ⅱ 日本語文法研究（庵）	1コマ ／週	現代日本語の文法を、文法カテゴリ別に概説する。Ⅱでは複文、談話・テキストを中心に扱う。	2005年度 休講
日本語学講義Ⅲ 日本語文法研究（庵）	1コマ ／週	現代日本語の文法を、文法カテゴリ別に概説する。Ⅲでは1文内の現象、とくに単文を中心に扱う。	冬学期開講 30時間
日本語学講義Ⅳ 専門日本語研究（今村）	1コマ ／週	社会科学分野の日本語の特徴と多様性を概観し、分析法、およびその教材化の方法、指導法を検討する。	夏学期開講 30時間
日本語教育学講義Ⅰ 日本語教授法研究（西谷）	1コマ ／週	日本語教育の量的な研究方法、とくに実験の設計や結果の分析方法について学ぶ。同時に、授業見学・実習を行う。	2005年度 休講
日本語教育学講義Ⅱ 教室活動実践研究（西谷）	1コマ ／週	日本語教育の質的な研究方法を、教室活の実践的な試みと関連させつつ議論する。同時に、授業見学・実習を行う。	冬学期開講 30時間
日本語教育学講義Ⅲ 異文化間理解教育研究（横田）	1コマ ／週	マクロな視点から留学交流政策を概観した上で、留学生アドバイザー・カウンセリングの意義と方法を検討する。	夏学期開講 30時間
日本語教育学講義Ⅳ 異文化間理解教育研究（横田）	1コマ ／週	留学生の学習、生活、心理等の支援の方法を学ぶことを通して、日本語教育の異文化間教育としての意義を考える。	冬学期開講 30時間
日本語教育学講義Ⅴ 教育評価法研究（三枝）	1コマ ／週	学習の到達度を正確に測定する尺度として、学習者の学習意欲を高める道具として、試験・評価のあり方を検討する。	2005年度 休講
日本語教育学講義Ⅵ 日本語教育学概論Ⅰ（松岡）	1コマ ／週	コメニウスを中心とした言語教育史の観点から日本語教育を捉え直し、その実践の歴史的、普遍的意味を考える。	夏学期開講 30時間
日本語教育学講義Ⅶ 日本語教育学概論Ⅱ（松岡）	1コマ ／週	日本語教育の多様性を示す文献を講読するなかで、理念ある、実践的な教材・教授法のあり方について議論する。	冬学期開講 30時間
演習 文章・談話研究（石黒）	1コマ ／週	教育文法という観点を重視しつつ、文章・談話研究につながる文法的な現象について調査し、発表を行う。	通年開講 60時間
演習 日本語教育法研究（五味）	1コマ ／週	日本語教育の実践的な方法について、とくに初級の学習者を対象とする直接法を中心に、その方法を議論する。	通年開講 60時間
演習 待遇表現研究（鶴田）	1コマ ／週	日本語のポライトネスについて考察し、日本語教育への応用の道を探る	通年開講 60時間

3. 日本語教育学位取得プログラム

〈秋季教育実習〉

実施日：2005年9月12日（月）～22日（木）の2週間

うち、見学日が12日～15日、教壇実習日が16日～22日

実施場所：本センター秋季集中日本語コースCクラス

参加者：阿保きみ枝、李 尚美、松本優、Luu Thinh Van

指導教員：石黒圭、中川まち子、北岡幹子、高橋美和子

〈春季海外教育実習〉

実施日：2006年2月23日（木）出発～3月11日（土）帰国の全17日間

うち、見学日が2月24日、教壇実習日が2月27日～3月10日

実施場所：北京大学日本語学科（学部2年生対象）

そのほか、人民大学での授業見学、北京外国語大学での異文化ワークショップ、北京日本語学研究中心・一橋大学北京事務所・如水会北京支部への訪問。

参加者：阿保きみ枝、李尚美、烏日哲、史シャク、朴紅蓮（第1部門）、松本優

引率及び指導教員：西谷まり

（石黒圭）